



## 政治活動を始めて4ヶ月

# えびの市に 新風を！

### あべてつみ後援会

〒889-4152

えびの市大字島内1172-15

代表 あべてつみ (阿部哲己)

電話 (FAX) 0984-48-0044

ホームページ <http://www.abetetsumi.com>

ブログ <http://abetetsumi.jp>

フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/abekouenkai/>

パンフレットの第1号を多くの人に読んでいただき、色々な方々から励ましのお言葉やご助言をいただくことが出来ました。ありがとうございます。

私の政治活動の基本は、私の考えを記載したパンフレットを多くの方々に読んでいただき、それをきっかけとしてお一人おひとりにえびの市の将来のことを考えていただくことにあります。

私の考えに賛同する人も、そうでない人もそれぞれの方々が、えびの市をより良くするためにはどうしなければならないかを考えていただければと思います。

政治活動に詳しい方から、まずは顔と名前を覚えてもらうことが大切だから、辻立ちから始めなさいとの助言を5月初旬にいただき、5月30・31日に市役所正門・北門前から始めました。現在は、月曜日は国道268号線の市役所入口交差点で、木曜日は杉水流付近の国道221号線、金曜日は島内付近の国道268号線沿いの場所で、「えびの市に新風を！」の旗と共に7時半頃から8時半まで辻立ちさせていただいています。

効果があるのだろうかという疑問や恥ずかしさなど、いろいろな思いが浮かびますが、ある方から「それらを乗り越えて前進あるのみ。すべて自分との戦いです。」と教えられたことがとても力になりました。ありがとうございます。

前を通る車のドライバーお一人おひとりに心をこめて「おはようございます」、「ご安全に」と言葉に出したり、もしくは心の中でお届けさせていただいています。

ようやく、パンフレット第2号を発刊することになりました。これからも出来るだけ多くの方々に読んでいただけるよう、より一層、配布活動がんばります。

あべてつみ後援会へのご支援をよろしく願いいたします。



## 私が、4ヶ月の政治活動で感じたこと

パンフレットを配らせていただきながら、いろいろな場所でいろいろな方たちとお話をさせていただき、今まで気付いていなかった問題点を発見したり、解決が困難な課題を再認識するなど、有意義な活動が来ています。重要だと考える4項目を記載します。

### 1 後継者問題

えびの市における後継者問題といえば農畜産業が筆頭だろうと考えていましたが、それは誤りで、多くの分野で後継者問題が深刻になっていることに今更ながら気付きました。人口減少が急ピッチで進んでいることが、それを表しています。その原因は何だろうと皆さんは考えられますか。

えびの市がこれから発展し、暮らしやすく魅力的な町になっていくのだという将来展望を持ってないからではないでしょうか。えびの市がこれから良くなるという将来展望があれば、自分とえびの市の発展のために、もう少しがんばろうという気持ちになれるのではないのでしょうか。

そのためには、これからえびの市が発展していくのだと市民が感じられるような施策を、行政及び市議会が市民の皆さんに提示することが必要です。

簡単なことではありませんが、行政及び市議会が議論をしっかりと行い実践することが必要です。

### 2 畜産業

いろいろな場所で、使われていない畜舎跡を見ました。十数頭養えるような新しい畜舎が使われていない所もありました。一方、市内のいろいろな所で畜産が営まれていることも認識しました。

市内の家畜飼養頭数を平成元年と28年度実績で比較した下表を見ると、畜産戸数は減少しているものの、1戸あたりの頭羽数は増加しています。史上初の3連覇を狙う全国和牛能力共進会の県代表牛にえびの市から3頭が選ばれるなど、畜産業の発展傾向がうかがえます。

家畜飼養頭数

区分	乳牛		和牛		肥育牛		豚		鶏	
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	羽数
H1	59	1,312	1,479	5,470	59	8,851	486	28,800	23	700,100
H28	11	652	349	3,529	40	17,540	46	59,938	34	1,448,214

一方、畜産農家(法人除き)の48%が60才以上という現実、頭数10頭以下の比較的小規模な和牛繁殖農家での後継者問題が深刻な様で、えびの市の畜産を更に発展させる施策が必要です。

例えば、市が購入した優良和牛を農家に貸付ける貸付家畜購入事業は、貸付期間終了後には市が負担した費用を回収でき、市の負担は実質的に金利負担相当のみと考えられ、費用対効果の大きい施策だと評価されます。この事業を拡大することで、畜産農家さんの規模拡大を支援することなど、後継者問題及び畜産振興の施策を迅速に検討・実行することが大切だと考えます。

### 3 市営住宅

市営住宅を市役所ホームページで調べると30団地あります。私がパンフレット配布で訪れた市営住宅では、空き家が多いこと、長屋形式で各世帯あたりの居住面積の狭い所が多いように感じました。また市営住宅の一覧表に記載されている建設年度のデータから想像する以上に老朽化が進んでいるように感じました。

住む人が少なかったり高齢者が大半の団地では、周辺の草取りもなかなか出来ないかもしれません。団地周辺の雑草が伸びてしまったりして居住環境が悪くなると、住民の活動意欲が低下することも懸念されます。

老朽化した市営住宅の建て替えを計画的に進めて行くこと、及び居住環境の整備を支援する施策が必要だと思います。



## 4 医療体制

えびの市からの救急車が市立病院に行かず、小林や人吉へ行くケースが多いことを嘆かれる方とお話しました。その方は、市立病院の医療機器が古いため、医師もなかなか来てくれないのだと力説されました。今後、高齢化が進むことで医療を充実させる必要性が高まります。また、若い人達に安心してえびの市で暮らしてもらうためにも医療の充実が必要です。

えびの市で唯一、お産に対応していた病院が、今年の8月から分娩受入れをやめることになったと報じられました。お産は妊婦さんにとって命がけのことだけに、えびの市内で出産できなくなるということは由々しきことです。

えびの市への移住促進を謳いながら、子育て世代の市民が不安に感じる事態をこのまま放置してはいけないと思います。

今までがんばってくれていた病院が、お産に今後も継続して対応してもらえるよう、今からでも、えびの市長と市役所の人達が病院の経営者をお願いすることが必要ではないでしょうか。

民間の病院ではどうしても分娩対応が出来ないというのであれば、えびの市立病院で対応できるよう対策を講じるべきだと考えます。

医療器材の購入や医者への報酬など費用が大きくなるとしても、子育て世代の人達がえびの市で安心して暮らせるようにするべきです。

えびの市でお産できる体制を継続することを市議会として決議し、市長に政策提言すべきだと考えます。

さて、市立病院を今後どのような病院としていくのかも考える必要があると思います。

ある人は、最新鋭の機材を導入することで優秀な医者も来てくれるし、えびの市で高度な医療を受けられることで移住者も増え、市民も安心して暮らせるようになると話されます。

建物建替えを視野に入れた市立病院の将来ビジョンを検討することと、今すぐ出来ることにどのように取り組んでいくのか、市議会と市役所が切磋琢磨の議論をすることが必要です。

なお、私は自分が高齢になり病気になった場合でも、自分で歩ける限りは出来るだけ入院せずに自宅療養を行い、自宅で死を迎えたいと考えています。しかし、現時点では在宅での医療を受けられる医療体制が十分には出来ていないように感じています。

この点も、今後の勉強課題だと捉えています。

皆さまのご意見など

お聞かせいただければありがたいです。

## あべてつみ後援会へのお誘い

あべてつみ後援会へご入会いただける方は、下のハガキを切り取って返送していただくか、文面をファックスで送信していただきますようお願いいたします。

電話 (FAX) 0984-48-0044

※ ハガキの規定重量(2グラム以上)を充たすよう、厚めの用紙を利用しています。

郵便はがき

切手を  
貼って下さい。

8894152

阿部 哲己 後援会 行

えびの市大字島内  
一一七二の一五





私にとって初めての今回の政治活動で貴重な体験を沢山させていただいています。私の活動は非効率ですが歩く時間が多いものです。歩いているからこそ、偶然出会った人といろいろな話をする事が出来るように思います。

ある所で数十分立ち話をした後で、自分の車に戻る途中で出会った人にパンフレットをお渡ししたことが、大切な支援者との出会いになりました。十数秒、時間がズレると、この出会いはなかったかもしれません。

パンフレットを読んでくれたいろいろな方たちが温かい励ましを届けてくれました。私が知らないところで、私のことをご友人の皆様を紹介してくれる方たちがいらっしゃいます。絶妙のタイミングで私の考えを是正してくれたり、励ましてくれたり、困難な壁を取り除いてくれる方々が現れてくれていることで、私の活動が祝福されているように感じています。

えびの市に元気を取り戻すよう働くことで、皆さまに恩返しできるようになりたいと願っています。 よろしくお願ひいたします。

**あべてつみ後援会**

〒889-4152

えびの市大字島内1172-15

代表 あべてつみ (阿部哲己)

電話 (FAX) 0984-48-0044

ホームページ <http://www.abetetsumi.com>

ブログ <http://abetetsumi.jp>

フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/abekouenkai/>

**あべてつみ (阿部哲己) の経歴・資格等**

- 昭和28年3月 誕生
- 昭和41年7月 父死去 母子家庭で育つ
- 昭和50年3月 福岡大学工学部電気工学科卒業
- 昭和50年4月 九州電力株式会社入社
- 平成13年7月 宮崎支店 日向電力所長
- 平成17年7月 鹿児島支店 送変電統括部長
- 平成19年7月 監査役室 次長
- 平成20年6月 長島ウインドヒル株式会社 監査役
- 平成22年3月 九州電力株式会社退職  
長島ウインドヒル株式会社監査役辞任
- 平成23年5月 母死去
- 平成25年10月 宮崎家庭裁判所都城支部家事調停委員  
(平成29年3月辞任)
- 平成26年4月 都城工業高等専門学校 非常勤講師

**[社会貢献等]**

- 平成8年10月 自殺予防が目的の電話相談ボランティア  
(現在も月1回、福岡で活動中。平成29年3月で活動累計800日に到達)
- 平成26年2月 えびの市観光審議会委員 (任期2年)
- 平成27年7月 えびの市まち・ひと・しごと創生推進  
会議委員 (~平成29年3月)
- 平成27年8月 えびの市介護保険運営協議会委員  
(任期3年)
- 平成27年11月 えびの市事務事業外部評価

**[資格・技能等]**

- 平成5年7月 第1種電気主任技術者
- 平成16年10月 第1種衛生管理者
- 平成20年11月 内部監査士

—入会申込書—  
えびの市の人口回復を目指す  
あべてつみを支援します。

フリガナ お名前	
ご自宅住所	〒
電話番号	

ご家族でご入会いただける方がおられましたらご記入願ひます。

フリガナ お名前	
フリガナ お名前	

あべてつみ後援会では、このパンフレットをご友人等に配布していただくボランティアを募集しています。

応援していただける方はご記入願ひます。

○ 後援会入会資料 (本書) を配布しても良い

※お知り合い、ご近所の方に配布していただければ幸いです。

ご希望部数 \_\_\_\_\_ 部

ご意見等があれば狭くて申し訳ないですがご記入願ひます。